

今年を振り返って

市民のみなさま
今年も市政へのご理解とご協力
ありがとうございました

1月
4日 新年祝賀名刺交換会
6日 那覇市消防出初式
26日 地域自治功労者表彰式
27日 読売沖縄セミナー

2月
12日 平成22年度那覇市総合防災訓練
14日 新消防緊急通信指令システム完成
20日～27日 読売巨人軍第2次キャンプ

3月
11日 東日本大震災発生
14日 緊急援助隊派遣
19日 与儀小学校区まちづくり協議会設立
28日 エコマール那覇リサイクル棟落成式典
31日 高度救助隊発隊式

4月
1日 全国初! 受診券一体型新国保証誕生
16日 2011イースタン・ウエスタンリーグ交流戦
in那覇巨人vs福岡ソフトバンク
26日 ゆいレール乗車数1億人達成!
30日 那覇市歌・みんなでうた合戦

5月
3日 那覇ハーリー
20日 那覇市制施行90周年記念式典
21日 那覇市協働大使活動支援センター開所

6月
1日 久茂地児童館移転・開館式
26日 太鼓フェスティバル
inなは創作エイサーコンテスト

7月
3日 ひやみかちマチグー館オープン
8日 さいおんスクエアまじらぎ
8日 沖縄・那覇スペシャルナイター

なはの日(7月8日)に東京ドームで開催された、プロ野球公式戦「巨人対広島」を「沖縄・那覇スペシャルナイター」と銘打ち、グラウンドでのエイサー演舞や、那覇のお菓子が当たる抽選会が行われ、那覇の魅力をPRしました。

9月 マジュン チバラナ! (共に頑張ろう)
東日本大震災被災者交流会
23日 那覇市石嶺小学校区まちづくり協議会設立
23日 健康なは21推進市民大会



2月20日～27日
読売巨人軍第2次キャンプ
沖縄セルラースタジアム那覇を中心とした奥武山運動公園で、読売巨人軍第2次キャンプを実施。キャンプは主に実戦中心の内容となり、東北楽天ゴールデンイーグルス、横浜ベイスターズ、東京ヤクルトスワローズとのオープン戦が行われ、会場に駆けつけた大勢のファンにプロのプレーを披露しました。



3月11日
東日本大震災発生
マグニチュード9.0。気象庁観測史上最大の地震となった東北地方太平洋沖地震と、この地震により発生した大津波が東北・関東を中心に甚大な被害をもたらしました。市は震災直後から、被災地へ消防職員30人を派遣。さらに市民や企業から支援が寄せられ、多くの支援物資や義援金が現地へ送られています。(11月8日現在 義援金約4,400万円)



3月31日
高度救助隊発隊式
高度救助隊の隊員は、人命の救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた隊員15人で編成され、西消防署に配置。高度救助隊は、市内で発生した救助事業やその他の災害に出動する他、県外で発生した大規模災害(地震・津波など)や特殊災害(テロ災害など)にも緊急消防援助隊として出動します。



4月1日
全国初! 受診券一体型新国保証誕生
国保証と各種健(検)診の受診券が1つになった新国保証の交付を開始しました。これにより、国保証を提出するだけで健(検)診を受けることができます。また、市では、独自の取り組みとして、特定検診の健診期間を通年(1年間)で受診できることや特定検診・健康診査(20・30代健診)、各種がん検診もすべて無料(自己負担なし)で受診できるなどのサービスを行っています。



5月20日 **那覇市制施行90周年記念式典**
5月20日は、那覇市の誕生日。市制施行記念日です。市は、大正10年5月20日、那覇区から那覇市になり、今年90周年を迎えました。



7月3日 **ひやみかちマチグー館オープン**
同館は、国際通りとマチグーのにぎわい創設事業の1つとして、牧志公設市場衣料部2階に開設するライブスポット(小劇場)です。地域で使えるお笑い、歌、踊りなどのエンターテインメントの発信拠点とし、地元客でにぎわうエリアを創り出していくことを目指します。



7月8日 **さいおんスクエアまじらぎ**
モノレール牧志駅前に「さいおんスクエア」が誕生しました。施設は、最新型のプラネタリウムや、まちにうるおいを与える親水庭園、商業施設「CARGOSE(カーゴス)」など見所満載。那覇のメインストリート、国際通りに新たな魅力が加わりました。



8月11日
海抜表示シート
市内各地の公共施設などに海抜表示シートを掲示。沖縄都市モノレールの各駅構内、市内にある金融機関やコンビニエンスストアなど、合わせて約1,000か所の掲示を年内に行います。



8月18日
第4期那覇市協働大使委嘱式+那覇市協働によるまちづくり推進協議会設立
協働大使によるまちづくり協議会設立は、全国初。なはおせっかいワクワク隊として人と人が支え合う協働のまちづくりの推進に取り組みします。



10月12日～16日 **第5回 世界ウチナーチユ大会**
今大会には、過去最高の23か国2地域から約5,200人が参加。「ちゅら島の魂響け 未来まで」をテーマに、県内各地で様々な交流イベントが行われました。



9月7日
大津波時における一時避難施設としての使用に関する協定
市は株式会社サンエー、株式会社タカダ、有限会社新里商會と協定を結びました。3者が管理する施設が大津波警報発令時の一時避難場所として施設付近住民に解放されます。※近くに高台がある方は、高台の方へ避難してください。



11月4日～8日
那覇市・福州市友好都市締結30周年記念事業「那覇市・福州市友好の翼公式訪問団出発」
友好都市締結30周年を記念して翁長市長を団長とする那覇市・福州市友好の翼公式訪問団が、福州市で行われた祝賀会など記念行事に参加しました。福州市では那覇市の物産と観光展や商談会も開催され、福州市のみなさんに友好都市那覇の魅力を紹介しました。

福州市交流の歩み

かつて進貢貿易などを通じて歴史的に交流の深かった中国福建省福州市と那覇市は、昭和56年5月20日に友好都市締結議定書に調印し、今年30周年を迎えました。現在、福州市は福建省の省都で中国の対外貿易港の1つとして栄えています。市内には琉球館や琉球人墓があり、琉球との緊密な交流の歴史が残されています。提携後は、文化や経済、スポーツなど様々な交流が行われました。現在は、毎年両市の児童生徒が相互に訪問する「那覇・福州児童生徒交流祭」が行われ、交流を深めています。



友好都市締結10周年を記念して福州園が開館(平成4年)
琉球人墓地で焼香し、先人の霊を弔う(平成18年)



9月23日
壺屋焼巨大シーサー除幕式
壺屋焼の巨大シーサーは、体長3.4メートル。焼物シーサーとしては世界最大級で、現在ギネスブックへの申請を検討中です。

9月6日
「メーメーやぎさん 草食み隊」協働大使委嘱式
大石公園の人気者やぎさんは、日ごろ公園内の雑草をむしやむしや食べています。そのことで草刈りの人手を省くと同時に、子どもたちとのふれあいを通して情操教育への貢献が期待されています。その功績と、やぎさんが協働のまちづくりに協力していることをアピールするため、今回特別に草食み協働大使という枠を設け、やぎさんに委嘱しました。

市内に事業所を有し、業歴が6か月以上の事業所に対して「那覇市小口資金融資」を受け付けています。詳しくは市ホームページをご覧ください。商工農水課 ☎951-3212